



日本製紙(株)紙パック事業本部【環境方針】

紙パック事業本部の環境方針を以下のように制定します。

- (1) 飲料・食品・家庭用品分野に於ける包装メーカーのリーダーを目指し、お客様に安全・安心で環境にやさしい、紙を主体とする容器・包装をシステムとして提供し、その発展に貢献します。
- (2) 環境保全に関する施策を計画的に推進し、環境負荷の低減に配慮した飲料及び食品用紙製容器包装、包装材料等の製品をお客様に提供して、循環型社会の形成に貢献します。

この環境方針は、下記の日本製紙グループ環境憲章に基づいて定めています。

理念 私たちは、生物多様性^(※)に配慮した企業活動を基本とし、長期的な視野に立って、地球規模での環境保全に取り組み、循環型社会の形成に貢献します。

※「生物多様性」とは、一般的に、同じ種内でも遺伝子に差がある「種内の多様性」、様々な生物種が存在する「種間の多様性」、および多様な自然環境に応じた「生態系の多様性」の三つの多様性を指します。

- 基本方針**
- 1.地球温暖化対策を推進します。
 - 2.森林資源の保護育成を推進します。
 - 3.資源の循環利用を推進します。
 - 4.環境法令の順守はもとより、さらなる環境負荷の低減に努めます。
 - 5.環境に配慮した技術・製品の開発を目指します。
 - 6.積極的な環境コミュニケーションを図ります。

2016年8月1日

日本製紙株式会社
紙パック事業本部
本部長 大林保仁